

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部
	19291-1	希少水生生物保護増殖事業	室名	文化振興局まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財会計	一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務款	教育費
施策体系	施策の方向	03:文化財の保存・活用	科目	社会教育費
	戦略プロジェクト		目目	文化財保護費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	河川環境の変化等で絶滅が危惧されている国天然記念物指定のネコギギの保護増殖を図る。
概要	市内主要河川においてネコギギの生息調査及び河川環境調査を実施してネコギギの生息状況を明らかにし、その保護増殖を図る。ネコギギについて市民を対象としたワークショップを実施し、その保護について啓発活動を行う。	

		27年度	28年度
①	名称	ネコギギワークショップの実施回数	計画値
	補足		実績値 1 単位 回
②	名称	ネコギギ保護指導委員会の開催回数	計画値
	補足		実績値 1 単位 回
③	名称	ネコギギの保護に関する協議回数	計画値
	補足		実績値 1 単位 件
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績		
				市内河川においてネコギギの生息確認調査及び河川環境調査を実施し、ネコギギの生息を確認した。ワークショップを1回開催した。保護の徹底を図るため、ネコギギの生息を周知するとともに、河川周辺における工事等について、保護のため協議を実施した。		
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ① 2,275
		事業費		2,035	2,033	一般職員人件費 ② 2,275 平均給与額×③
		国庫支出金		1,000	1,000	所要人員 ③ 0.30
		県支出金		155	155	臨時職員人件費 ④
		地方債				受益者負担額 ⑤
		その他				受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥
		一般財源		880	878	
		再掲	翌年度への繰越額			
		再掲	前年度からの繰越額			
			総人件費		① 2,275	
	総コスト		⑥ 4,308			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	市内河川においてネコギギの生息確認調査及び河川環境調査を実施した。ネコギギの生息を周知することにより、市内河川周辺における工事・開発行為等において保護のための協議を実施し、施工業者に対して適切な指導を行ってきたところであるが、工事に伴う調査で新たにネコギギの生息を確認したため、生息調査及び河川環境調査の地点をそれぞれ追加した。緊急調査から保護増殖への事業移行に向けての準備及び住民への普及・啓発を図るためワークショップを開催したことにより、住民のネコギギに対する意識が高まった。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	生息状況の把握は進んだが、今後は調査から保護増殖に向けて事業を進めるにあたり、モニタリング調査及び河川環境調査は継続して実施する必要がある。保護増殖に向けて飼育事業の具体的な計画を立てる必要がある。住民主体の活動を進めるため、地元住民を中心とした普及・啓発活動を進めていく必要がある。河川周辺における工事・開発行為等に対して、今後も関係者との協議を行い、工事状況等の把握に努める必要がある。	
	【改善の方向性】	ネコギギ指導委員会で年度ごとの具体的な事業計画案を協議して事業の推進を図る。生息確認調査及び河川環境調査は、河川を限定して継続実施し、保護増殖に向けた具体的な事業の基礎資料として充実を図る。地域住民のネコギギ他の希少水生生物に対する関心を高め、保護増殖への機運を高めるよう関係者向け、一般住民向け等対象者別に説明会やワークショップ等の啓発活動を実施していく。河川周辺における工事・開発行為等に対して、事業者による事業照会を実施する。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: まちなみ文化財室長 山口 昌直